ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川太田川水系桐原川支川22　通常砂防事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	6	4	3	2	0	0	3

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	一級河川太田川水系桐原川支川22　通常砂防事業に伴う業務委託			北緯	34° 31’ 46.8362″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成29年10月17日～平成29年10月17日	東経	132° 31’ 34.3812″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 122.07m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	37° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-0	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	7.00m								エンジン	ヤンマーNFD80型	ポンプ	東邦BG3C型

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
1	121.27	0.80		礫混じりシルト質砂	黄灰						表土。細砂主体。GL-0.50mまで非常にゆるく，木の根を含む。			10/19 無し														
2				花崗岩	黄灰～褐	E	VI	d	ε	1	風化花崗岩。GL-0.80～4.00m間は岩級区分DL～DM級相当。GL-4.00～7.00m間はDM～DH級相当。岩芯まで風化し，長石は粘土化している。		D		1.15	12/30											
3															1.45												
4													D		2.15	26/30											
5						D	V		δ						2.45												
6															3.15	37/30											
7	115.07	7.00								2	GL-6.3m以深，亀裂に沿って風化が進行し，幅1cm程度の粘土の脈が確認される。				3.45												
8															4.15	50/24											
9															4.39												
10													D	10/26 5.80	5.15	50/16											
11															5.31												
12															6.10	50/20											
															6.30												
															7.05	50/18											
															7.23												
																				10/17	93	66／ケーシング	S／M	0	0	0	無水／0	0
																						66	W／M	150	100	1	清水／11	0